

地域福祉活動計画の取組状況について

平成30年度 地域福祉座談会概要

各地域社協連絡会ごとに幹事（自治・町内会長）を対象に研修会を行う中で地域福祉座談会を開催しました。

開催期日／会場／参加者	内 容
【しもまち地域】 平成31年2月27日(水) クロスパルにいがた 40自治会(57名)	(1) 区社協事業概要及び各種助成事業について (2) 「地域福祉活動計画」について(座談会)
【上新潟島地域】【江東地域】 ※合同開催 平成31年3月4日(月) 新潟市総合福祉会館 上新潟島地域23自治会(35名) 江東地域38自治会(50名)	(1) 区社協事業概要及び各種助成事業について (2) 「地域福祉活動計画」について(座談会)
【みなみ地域】 平成31年3月12日(火) ユニゾンプラザ 73自治会(89名)	(1) 区社協事業概要及び各種助成事業について (2) 「地域福祉活動計画」について(座談会)

平成30年度 地域福祉座談会（地域福祉活動計画）要約

目標 (6年後の姿)	取り組み	現在の課題について	来年度(平成31年度)取り組みたいこと
1 支え合い・助け合い	相互理解・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○買い物に困っている人がいる。商店・スーパーも減少している。 ○一人暮らしで高所作業等ができない人への支援の仕方。 ○家族葬が増え、亡くなったことも分からない。プライドが高く助け合いを拒む人もいる。 ○地域活動に対する意識が低い。新規町内加入者が協力的でない。 ○自治会長と民生委員の連携強化。民生委員のなり手がいない。 ○福祉協力員については引き受けた人の負担がある。 ○助け合い活動については平素からの付き合いが必要。 ○おたがいさまランチ出席者減。集まる人が固定化。 ○ゴミはプライバシーの問題が出てくることもある。 ○高齢化によりゴミの分別が難しい。特に資源ゴミ出しは重くて大変。 ○外国人が増えゴミ出しが不徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> ○助成制度を活用し、民生委員とも連携し高齢ひとり暮らし世帯のゴミ出し支援、声をかけて安否確認。 ○友愛訪問。見守り活動。ひとり暮らし高齢者の長期不在時、居所と連絡先の確認。 ○民生委員とのタイアップ。見守り活動は民生委員だけに任せないでみんなで考える。 ○福祉協力員制度の上手な活用。 ○自治会単位で回覧板時の一声、買い物の配達情報伝えるなどのコミュニケーションの推進。 ○買い物支援の拡大。 ○自治会役員に若い人を増やし情報交換の場を増やす。コミ協の専門部員の若返り。 ○町内ボランティア・次世代の地域のリーダーの育成。役員の巻き込み。 ○PTAにも参加協力をしてもらおう。 ○自治会の再スタート、役員のなり手不足解消のため一旦活動をやめる方法もあるのでは。 ○活動継続のため気軽に参加してもらい協力者を増やす。 ○昔取ったかねづかでリーダーになってもらう、掘り起し（書道、歌声喫茶等）。
2 交流の場づくり	多世代交流	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人がいなく単独でできない。 ○参加者が減少している。参加者の固定化。男性が少ない。 ○活動のマンネリ化。新しいことをしたいが難しい。 ○マンション住人との交流がない。回覧もまわらない。 ○隣人とのかわりがない。意思の疎通がない。つながりを求めている。回覧板も回らない。 ○人が集まらず自治会主催で会合・行事をやれない。 ○子どもの数が減少し、町内の活動が難しい。 ○外国人との交流が難しい。 ○自治会同士の交流の継続が難しい。 ○高齢者も多くコミュニケーションがとりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○転勤者とのコミュニケーションの取り方を工夫したい。 ○地域でコミュニケーションを図り、高齢者も若い人も各種行事に参加できるようにする。子どもと一緒に若い人を参加させる。 ○他の地域と合わせて開催する。 ○歩こう会を地域で行いたい。 ○歳末たすけあい事業。ふれあい交流会。盆踊り、ふれあい祭りを続ける。 ○自治会の交流会の促進。 ○食事会の実施。芋煮会の実施。老人クラブの男の料理教室でも実施。 ○行事の新規参加者増のために、参加費の負担や演目等を検討。 ○高齢者と子どもの交流。 ○赤ちゃんお祝い会を3～4才まで広げたい。 ○子どもを中心としたキャンプなどのイベント。子ども会の開催。 ○子ども会は町内毎でなく、ラジオ体操のように地域でやれるとよい。
3 活動場所	居場所(ふれあいの場)・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家が増えてきた。空き家・土地の活用の仕方。 ○行政施設跡地の利用、行政の施設がない。 ○集まるための拠点が少ない。場所が不足している。活動場所が手狭。 ○地下街の活用。 ○茶の間の出席者の固定化。茶の間への参加呼びかけが難しい。茶の間を手伝ってくれる人が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集会所確保のため積み立てや空き家をあたるなど工夫をする。 ○多くの集まれる場所をつくるために、まずは小さな集まりから行う。 ○小学校等行政の跡地の活用。 ○コミ協とお茶の間を中心に地域全体の集いの会を開催する。 ○自治会別の地域の茶の間の検討。 ○地域の茶の間で生活相談、相続・終活、一人世帯の支援、年1回食事提供等を行いたい。参加を促すための声かけ、男性の参加を増やしていきたい。 ○清掃美化活動を通じて世代間交流の活発化。クリーン推進員との連携。
4 健康	健康維持・介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症の人のケアの仕方。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在行っているラジオ体操を続ける。 ○医療と介護問題への対応の仕方。見守りか集いの場がよいのか。 ○認知症ケア・見守り。認知症や要介護の方の情報をさらに共有し支援に生かす。 ○囲碁、将棋、マージャン等できっかけをつくる。 ○フレイル予防と健康寿命延伸の活動として貯筋運動、勉強会、老人クラブの支援。 ○健康づくりのための体操などのスポーツ。
5 安心・安全	安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時、避難を支援する人も高齢化している。 ○防犯カメラ・防犯灯の不足。セーフティスタッフの不足。 ○津波の避難場所の確保。 ○火災が多くなっている。 ○災害時要支援高齢者登録者が増えている。 ○一人暮らし高齢者の把握が難しい。 ○中学校が遠く駅を通るので登下校が心配。 ○イベント会場近くで車マナーや騒音の問題がある。 ○クリーン推進員の活用が課題。 ○空き家が増え道路が暗くなった。 ○街灯設置等の助成情報がわかりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心カード等同一の事業は地区内で統一できるとよい。 ○災害に備え情報の共有、黄色のハンカチの活用、声かけ等。 ○緊急医療情報キットを高齢者みんなに配付。防災用リュックの配布の継続。 ○要支援者名簿の役員の共有。意思の疎通。要支援者の決定ルールを明確にしていく。 ○信号のところ等子どもの交通安全の見守り。 ○校区全体の防火訓練を行いたい。マンション独自で防災訓練。 ○ひまわりクラブ後等子どもの見守り。 ○防犯灯・防犯カメラの設置。防犯パトロールの実施。セーフティスタッフの充実。 ○防犯訓練には中学生にも積極的に参加してもらおう。年齢に関係ない防災・防火の組織づくり。 ○防犯、特殊詐欺防止、防火、防災の講演会。 ○災害時の避難場所の検討。マンションが独立化しているので、町内の避難所として活用し交流。 ○家庭内DV防止、子どもの虐待防止のために何か考えたい。
6 その他		<ul style="list-style-type: none"> ○自治会がどんな活動をしているかわからない。 ○民生委員の情報がわからない。 ○統合する自治・町内会もあるかもしれない。自治・町内会の単位も検討が必要な場合もある。 ○自治会規模のため活動に取り組むにも限度がある。 ○地域の取組みに差や温度差がある。 ○介護保険を使わなかった人に何か戻るような仕組みがあるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員が自治会長に声掛けして話す機会を設ける。 ○自治会活動の活性化のため助成金を有効活用する。自治会活動の内容の周知。 ○新築マンション入居者への自治会加入促進。 ○赤い羽根などの募金について自治会で集金を一括で行い負担を減らす。 ○今までの課題への取組み継続と強化。可能なら事業を減らしたいが、今年度事業の継続。

平成30年度 地域座談会（地域福祉活動計画）意見集約表

地区	現在取り組んでいること	現在の課題について	来年度（平成31年度）取り組みたいこと
1 入舟	<ul style="list-style-type: none"> ○おたがいさまランチ（80名） ○ふれあいウォーキング（180名） ○敬老会（120名） ○バーベキュー大会（町内） ○ワンコイン懇親会（町内） ○納涼会、新年会（30名） ○敬老祝い金、入学祝い会、卒業祝い金 ○子ども会（中学校・小学校）ラジオ体操 ○公園清掃 ○廃品回収 	<ul style="list-style-type: none"> ○おたがいさまランチの出席者減。会場変更により坂道を登る参加者がいつも同じ。 ○集まる人が固定化し、知らない人と話さない。 ○家族葬が増え、亡くなったことすらわからない。 ○空き家が多い。家屋としての価値がない。 ○隣人とのつきあいがいい、人とのかわわりを避けている。 ○ニートが多い。 ○回覧板が回らない。 ○新規町内加入者が協力的でない。 ○自治会主催で総会・集会・行事をやれない。 ○人が集まらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事の新規参加者増の取り組み。→参加費を町内会費で負担、演目の検討。 ○高齢者・子供との交流。（近所の人の顔が互いに見える、わかる） ○お互いに助け合える仕組みづくり。 ○独居高齢者→見守り、声かけ。 ○しもまち笑顔の家の参加者増→きっかけづくり、町内会長の声かけ、PRを広げる。高齢者主体の行事を行い参加させる。 ○赤ちゃんお祝い会を3～4才まで広げたい。 ○福祉協力員制度をうまく使えないか。
2 栄	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ出し支援（カゴの設定）をしている。・20数名+ボランティア1名 ・今後高齢者が増えてくる。全員で共有必要。（ボランティアに頼れない時代） ・日曜以外毎日、月に1～2回まわってくる→ちょっとした贈り物ももらっている。 a専門の人1万円/月 b年間36万円（2か所） c動けない人は清掃免除。班ごとで持ち回り、清掃できない人は2,000円もらい班の人に分配。 ○ふれあい事業 ・納涼会（48名参加） ・敬老会（参加者多い、助成金と町内会費、個人負担） ○中学生のごみ出し支援（今はやっていない） ○敬老祝い会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○助け合いが大切と思うが、申し出ても「自分でできる」と言われる。しもまちの高齢者はがんばり屋、プライドが高い。対応が難しい。 ○生ごみは私生活がわかってしまう。プライバシーの問題。 ○今後の人口減少、自治体は町内の単位を考える必要がある。 ○資源ごみ重いため、ごみステーションまで持っていくことが大変。 ○クリーン推進員（古紙回収、報告方法について、手当について） ○低所得者が生活保護受給者よりも低い水準の生活をしているのでは。保険料でとられるお金多い。医療費もかかる。介護保険を使わなかった人に何か戻るような仕組みがあるといい。 ○空き家はなぜ増えたのか、行政として施策が必要では。近隣への迷惑。空き家・土地の活用法。 	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人を町内会に入れる、参加してもらおう。 ○要援護者名簿の役員の共有。→プライバシーに配慮した形で。→動けない人をおいて逃げられない。→要援護者のなかには元気な人もいる。 ○防災・防火の組織づくり（年齢関係なく）。
3 湊	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとり暮らし世帯の見守り。 ○茶の間に参加している。 ○水道メーターを見て、水もれ等異状を見つけて行く。 ○敬老会 ○地域の茶の間 ○マジックショーなど 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢世帯が多い →見守り活動をどう充実させるか？ ○茶の間に出てくるのがむずかしい。声がかげづらい。 ○出席者の固定化。 →回数を増やしてもどうか？ ○出席者に対して好き嫌いが大きい。 ○ごみ出しルールについて。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の茶の間になるべく出たい。 →生活相談、相続・終活、一人世帯の支援 例）・急病人で身寄りがないときに救急車に同乗する。 ・食事を出したい（年1回）、参加を促すために、声かけ等をした。 ・男性の参加が少ないのもっと増やしたい。 ○昔、取った杵柄 →リーダーになってもらう。人材の掘起こし。 例）書道の会、歌声喫茶等 ○きっかけを作る（囲碁、将棋、マージャン）。 ○スポーツ、健康作り→体操、有料？ ○多くの集まれる場所を作る。→まずは小さな集まり。
4 豊照	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の茶の間トヨテール →平成30年9月から、第2・第4水曜日、集会所とよてで月2回実施し、平均15～20名参加。 ○ごみ出し支援事業は増えているが、助成金を利用して町内は1割程度。安否確認もできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの数が減少し、小学校が遠くなり、なかなか顔が見れない。地域のイベントに子どもたちが積極的に参加できるよう呼びかける。 ○茶の間のお手伝いが少なく困っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の茶の間を継続する。 ○旧豊照小学校跡地の開発計画が行政から提案が出ている。→地域住民に早めに説明して、進めるようにしたい。

平成30年度 地域座談会（地域福祉活動計画）意見集約表

	地区	現在取り組んでいること	現在の課題について	来年度（平成31年度）取り組みたいこと
5	新潟 (旭水 含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○ゆうゆう会（1年） ○健康サロンクラブ（4年） 	<ul style="list-style-type: none"> ○消防局跡地利用 ○西堀ローサ活用 ○行政と住民との考え方が合わない時代が長すぎた。 ○ボランティアとして動いてくれる人が居ない現実。 	<ul style="list-style-type: none"> ○要支援者への対応、意思疎通。 ○災害時の避難場所について検討。 ○子どもを中心としたイベント（キャンプなど）の検討。
6	礎	<ul style="list-style-type: none"> ○雪町 →青年部（映画、おかしなど5名）、敬老会（金一、おこわ）、ゴミ袋配布（年2回 20ℓ 10ℓ）、婦人部（日帰り温泉） ○礎町 →敬老会 単独（73才）オークラ、新年会 ○コミ協 →敬老会、運動会（三世代交流）、新春祝賀会、文化祭、防災訓練 ○各町内 →高齢者ごみ出しのお手伝い（日頃の近所づきあいの中で） 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人（中国人）との交流（グランドアーパス）。 ○イベント（防災）時には回覧だけでなく事前に声かけがいい。 ○民生委員の情報が分からない。 ○高齢化により、ごみの分別がむずかしくなっている。 ○子どもも少ないため町内の活動が少ない。 ○買い物できる個人商店がなくなった。 ○マンションが自治・町内会を作っていない、回覧板も回らない。 ○空き家が増え、道路が暗くなった。 ○賃貸の人が引越した後、ごみが無分別で捨てられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家。防火灯を増やし、明るく安全な町に。 ○小学校がまちまちで情報がわかりにくい→子ども会の開催。 ○高齢者の見守り→民生会の活用、独居高齢者に目配り心配り。 ○マンションの独立化→町内の避難所として活用してもらい交流。 ○子ども会（人数が少なくできていない町内もある）。町内毎ではなく地域としてやれたら（ラジオ体操のように）。 ○コミュニケーション推進（自治会単位、回覧板時の一声、買物の配達情報などを必要な人に伝える）。
7	大畑	<ul style="list-style-type: none"> ○新潟まつり、子どもみこし →子ども200~300人集まった。H29、H30盛況。青年会の父兄が中心。 ○友愛訪問 →毎月ツールを使った見守り。民生委員と協力し、必要な世帯に配布。 ○緊急情報キット →大畑地区社協。300世帯。75歳以上の高齢夫婦、一人暮らし、障がい者対象。 ○ふれあいまつりのような活動をしている自治会がある。 ○見守りの一環として、敬老祝会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会同士の交流、継続。 ○空き家については、空き家のパンフレットをもらってきた。 ○総会の紹介予定。 ○助成の情報わかりにくい（街灯設置の助成など）。 ○役員のなり手が少ない。他の自治会と統合するのも難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今までの課題への取組継続と強化。

平成30年度 地域座談会（地域福祉活動計画）意見集約表

地区	現在取り組んでいること	現在の課題について	来年度（平成31年度）取り組みたいこと
8 鏡淵	<ul style="list-style-type: none"> ○茶の間（7つ）…白山浦1がない。 ○南山クラブ ○歩こう会（市全体？） ○新年豆まき 	<ul style="list-style-type: none"> ○単独でできない（若い人がいない）。 ○人口が減ってきた。 ○地域での取り組みに差がある。 ○リーダーが不在。 ○自治会で世帯数が違う。 ○新しい参加者が増えない。 ○頼みやすい、声をかけやすい隣近所の関係。 ○町内会長の意欲。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他の地域と併せて開催。 ○6/8にコミ協と7つのお茶の間を中心に地域全体を対象とした集いの会を開催。 ○歩こう会を地域で行いたい。 ○安心カードなど同一の事業については地区内で統一出来ると良い。 ○町内会長の意欲が高められると良い。
9 白山	<ul style="list-style-type: none"> ○敬老会…現金、図書券、お弁当、健康ランド ○新年会 ○子ども会…花火、ランチ、映画 ○見守り…認知症情報共有、声かけ ○古町4…店が多く住んでいる人が少ない。行事（年1回）会2つあるが集まる機会少ない。知っている人少ない。マンションの人あまりよくわからない。孤立していて、誘っても出てくれない。あいさつはするが…。全部に声かけするのは難しい。 ○東堀3（内容よくわからないで来た）…1～2回出てもわからない。補助金のことよくわからない。 ○マンション…5つしかコミ協に入っていない。入ったがやめた所もある。いくつ位あるかわからない。新しいマンションには入れない。大きい所は自分達で組織ある。50程度の所は入っていない。災害時も普通の人×、NSGは毎年やりとりしてカギ預かっている→夜土日 町内会資料に明記、防災訓練・避難訓練もしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○独居高齢者…急病、火事→声かけが必要。声かけをしたいが、交流なし。干渉されたくない。地域が広い。世話焼きの不在。 ○災害時の避難…歩行困難者の支援→支援者も高齢で…。 ○古町…医者、買い物が便利と思って居住。商店（三越も）どんどん減→高齢者買い物難民増えるのでは。イトーヨーカドーもいつ閉店になるか。 ○マンション…若い人増だが、どんどん建たなくなる地区になるのでは。回覧板回していない。 ○白山小、子ども8割強マンションから通っている（一般住宅少ない） 防犯防火など訓練。行事など回覧回しても参加は高齢者。 ○意見の疎通ない。 ○管理組合…地域と一緒に（積極的に）やりたくないからマンションに入った。マンションと一軒家行き来ないとわからない。防災、パトロール。 ○コミ協1人300円とお金かかる。防犯、防火、防災、福祉、女性部、敬老会。 ○敬老会…今年から500円/1人会費←最初100円、ずっと無料でしていたが10年ぶり。食べ物、飲み物への意見ある。 ○子ども会1人500円/年。小中学生まで（9年間）補助金出す。子どもは国の宝！！ ○民生委員改選の年（75歳まで）→次の人なかなか見つからない、見守り、ヤクルト（高齢独居安否確認）。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害に備える。 →情報の共有（避難所、要支援者）、要支援者支援（黄色のハンカチの活用、自助の声かけ、できることを確認） ○緊急医療キット（高齢者みんなに配付） →民生委員担当。安否確認。家の内側かもいにシール貼る。連絡先・かかりつけ。 ○地域の茶の間。 ○ごみ出し6人→やってくれる人1人1つの袋100円、高齢ひとり暮らしごみ出し大変、声をかける→安否確認。 ○歳末たすけあい ○クリーン推進員→世帯数により補助金～町内費に入れてもらっている。 ○ふれあい交流会 ○友愛訪問→民生委員主体 ○子どもの交通安全（見守り）→信号の所など
10 浜浦	<ul style="list-style-type: none"> ○「ちいきのつどい」の継続（地区社協） →2年に1回→毎年、多世代交流となっている。 ○「赤ちゃんお誕生おめでとう」（民児協）→年2回 ○3校合同演奏会（コミ協） ○フロアカーリング（スポーツ振興会） ○もちつき（上本村自治会） ○地域の茶の間（町内会やボランティア） ○安心、安全マップ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○各自治会がどのような活動をしているのかわからない（新人）。 ○町内会長の負担が大きい、なり手がいない。 ○人の出入りがある地域、地域活動に対する意識が低い。 ○空き家、空地、ネコ。 ○空き家、転入転出者の管理。 ○それぞれが自立している一方で地域に興味がない、つながりを望んでいない。 ○買い物に困っている人がいる。 	

平成30年度 地域座談会（地域福祉活動計画）意見集約表

	地区	現在取り組んでいること	現在の課題について	来年度（平成31年度）取り組みたいこと
11	関屋	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなが交流し協力」…民生委員と自治会長との協力は必要に応じて連携していきたい。 ○「子ども達がいきいき育つまち」…現在のイベントを継続していく。 ○「住民が健康に暮らせるまち」…学校や地域との協力→現在の活動を継続していく。 ○「安心・安全なまち」…パトロール強化 ○ふれあい事業…夏の花火、隣の町内と一緒にする工夫。 ○地域の茶の間…3→5団体、他地区へ呼びかけている。 ○敬老祝い会…関屋小学校で音楽・歌などの会→自治会とコミ協。 ○歳末たすけあい…もちつき大会、町内（田町） ○ゴミ出し支援…4人に対して6人で支援。 ○コミ協…なかよし運動会（毎年・コミ協+育成協で） ○キット…実施済 ○友愛活動…高齢者に対して実施中。 	<ul style="list-style-type: none"> ○支える人の高齢化←自治会役員等 ○自治会長が1～2年でかわるので事業、活動がわからない。 ○自治会長と民生委員の連携強化が必要。 ○新しい防災組織ができ始めた。 ○集合住宅が増えてきて付き合いが難しくなってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会役員に若い人を→情報交換の場をふやす。 ○民生委員が自治会長に声がけして話す機会を設ける。 ○現在行っているラジオ体操を続ける。 ○校区全体の防火訓練を行いたい。 ○グラウンドで始めた盆踊り、ふれあい祭りを続ける。
12	有明台	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の茶の間の開催、3区、4区、弥生有明、もう1団体有りの4団体が茶の間をやっている。 ○ひまわりクラブの支援、参加呼びかけを行っている。 ○ふれあいスクール…通年毎月協力員と有明台小とやっているが、8月の夏休みだけ民生委員と児童委員が協力して盛大に行っている。 ○防災訓練、歳末ふれあいお楽しみ会、秋祭り、地域のクリーン作戦…地域全体で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○役員の後継者がいないので今後について。 ○PTAの役員終了後にも町内会への活動に参加協力してもらうためどう触れあっていくか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前項の課題についての掘り下げ、各自治会の中で具体的な検討を。

平成30年度 地域座談会（地域福祉活動計画）意見集約表

地区	現在取り組んでいること	現在の課題について	来年度（平成31年度）取り組みたいこと
13 南万代	<ul style="list-style-type: none"> ○天神尾元気クラブ（自治会館）…15名。地域でコミュニケーションを図る。顔が見える交流。新規加入が少ない。 ○ワンコインサロン…月1回 ○地域のお茶の間 ○同好会…麻雀・カラオケ、月2回 ○健幸クラブ…6月～3月、月1回 ○敬老会…年会費3,000円 ○連合自治会で夏休み盆踊り、ウォーキングなど ○ふれあい事業（交流会）…避難訓練等と実施 ○季節行事等…自治会で年5回 ○マンション居住者交流会、カラオケ、夏祭り、親睦会、日帰り旅行 ○おもつき大会…協力：新潟会館 ○子ども食堂…年2回、場所探しに苦労している。 ○社宅の草取り、土さらい、消防訓練 ○役員固定しない。 ○年度末に次期役員…班担当7名に自治会の役割を分担した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○場所不足 ○高齢者が多く、デイサービスへ行く人も多いため、コミュニケーションが取れない。 ○リーダーの若返り、後継者不足→活動できない。役員のなり手不足、人材不足。 ○協力者の減少…人口の減少が影響。 ○同じ人が継続。 ○参加者の固定化。 ○活動のマンネリ化…新しい事を実施したいが難しい。 ○居住者の「自治会活動」についての理解不足。 ○コミ協主催行事（防災訓練等）参加者の減少…呼びかけているが平日行事のため参加者は少ない。 ○役員の連携が図れていない。 ○日常と自治会が連動しない。 ○社宅の入替えが多く活動が定着しない。 ○認知症者はどのようにケアすべきか。情報共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ○忍耐強く地域でコミュニケーションを図り、各種行事に参加できるようにする。高齢者+若い人も。 ○次世代の地域のリーダーの育成。 ○自治会の再スタートのため、役員のなり手不足のため、一旦活動を止める方法もあるのでは。 ○自治会活動を続けるため、活動の協力者を増やす（気軽に参加してもらう）。 ○自治会活動活性化のため、助成金を有効活用する。 ○自治会活動の内容の周知。 ○自治会の交流会の推進。 ○役員への同志の巻き込み。 ○一つの成功の次年度への活かし。 ○参加してほしい人たちの活動への巻き込み。 ○子どもの見守り（ひまわりクラブ後の見守り）。 ○認知症ケア・見守り。
14 万代	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい事業、地域の茶の間 ○ひなまつり…老若男女参加 ○赤ちゃん誕生祝い会…0～2歳児 ○ゴミ出し、ゴミステーションのパトロール ○コミ協夏まつり・懇親会…人間関係をつくる。こどもはいないので大人のつながり。 ○パーベキュー、ラジオ大会、クリーン作戦 ○街灯の増加。 ○自治会の役員会…月1回または2月に1回 ○セーフティスタッフの活動…子どもたちの見守り ○防災支援 ○マンションを取り入れる…災害時の避難場所にもなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家・空き地の増加。 ○防犯カメラ・防犯灯の不足。 ○ゴミ出しの徹底されていない…アパートに外国人の住人が増えた。 ○セーフティスタッフの不足。 ○12グループは地域住民の高齢化が激しい。マンション住民（専門学校生）を取り入れるための工夫が必要。 ○住民の高齢化と減少…町内会の統合？ ○交番が近くにあるので安心。 ○防犯カメラの設置費…町内会で出すには限度がある。 ○津波の避難場所の確保。 ○担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯灯・防犯カメラの設置。 ○除雪…細い道路には市の除雪車が入らないので市に検討してほしい（現在は自治会独自で業者に依頼）。 ○セーフティスタッフの充実。 ○現在取り組んでいることの継続。 ○こどもをダシにして若い人を参加させる。
15 長嶺	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の茶の間…施設が充実してよかった。コミ協として3ヶ所、自治町内会で2ヶ所。 ○コミ協における女性の活躍。 ○防犯パトロール…コミ協全体で年末1回、自治町内会10ヶ所で月2～4回。 ○ふれあい会、新年会、旅行、食事会、その他様々な地域活動…自治町内会。 ○花見、夏まつり、蒲原まつり、三世代交流会、ミニサミット、その他各専門部行事…コミ協 ○買い物支援…地域の茶の間チューリップで今年1月より勇樹会・支え合いのしくみづくり推進員滝澤さんの協力で始まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らしで高所作業など自分でできない作業についての支援体制。 ○福祉協力員の活用…引き受けた人の負担がある。現実には便利屋を活用。 ○自治活動保険の活用。 ○町内予算化。 ○隣組イメージの助け合い…平素からの付き合いが重要。 ○町内ボランティア・役員等の人材不足、協力不足。 ○地域の茶の間チューリップの会場が手狭…他地域の方の参加が増えたため。42名の席はある。 ○コミ協・自治町内会の役員の高齢化。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町内ボランティア・役員等の人材育成。 ○自立支援…できることはできるだけ自分でやる。 ○買い物支援の拡大。 ○若い世代も参加しやすい行事の計画。 ○自治町内会での若手の登用。 ○コミ協の専門部員の若返り。
16 沼垂	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい事業（もちつき大会）…芳原1町内会、芳原公園で開催。30人参加。 ○敬老祝い会事業…芳原4町内会、沼垂荘で開催。ビンゴゲーム・万代太鼓、20人参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパーがなく不便。 ○空き家の増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者世帯のゴミ出し支援…助成制度を活用する。

平成30年度 地域座談会（地域福祉活動計画）意見集約表

地区	現在取り組んでいること	現在の課題について	来年度（平成31年度）取り組みたいこと
17 鳥屋野	<ul style="list-style-type: none"> ○親松：防災訓練10月 盆踊り・祭り・餅つき ○高美町：回覧板1.6回/月、新年会1月、どぶ掃除公園草刈り7月上旬全世帯、納涼会（世代間交流）7月下旬公園、ラジオ体操7月下（子ども会主催）参加賞配布、防災訓練、公園草刈（役員のみ）、医療情報キットについての説明会と説明文書の配布。 ○鳥屋野：もちつき ○愛宕：もちつき、日帰り町内旅行30名位。 ○鳥屋野南：地域交流会として公園で屋台村開催、約580名参加。 ○鳥屋野コミ協：鳥屋野ふれあい祭 約3,000名が参加している。自主防災訓練土曜日実施・小学校も5.6年生参加、中学生支援隊編成して地域全体で取り組んだ（約800名参加）。 ○夏休みラジオ体操を自治会単位で行っている自治会もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○役員のなり手がいない（役員報酬が多い地区は役員になってもらえる？）。 ○敬老会対象者が増えている（70歳が基準）ため基準年齢を上げる必要がある。 ○要介護者が増えている（身体・精神症状）。 ○要介護老人登録者が増えている。 ○町内役員の業務内容が増えている。 ○インフラ整備が遅れている。 ○防犯カメラの設置を強く要望する住民がいる。 ○小学校通学路の地下道の利用率が低い、痴漢が出る、自販機を壊す人がいる、防犯行為をする人も。 ○様々な企画を立てても住民の参加が少ない。特に男性の参加が少ない。 ○独居高齢者の把握が難しい。既に施設入所しているのか等、存在や動向が良く分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴミステーションを設置しても家を建てるため移動してほしいとの要望があるが、適当な設置場所がないため検討したい。 ○防犯カメラ設置の検討（2～3年は難しいが）。 ○今年度事業の継続（可能なら事業を減らしたい）。 ○鳥屋野南は、世代間交流の活発化に取り組みたい。清掃美化活動を通じて行う予定。 ○認知症や要介護の方の情報をさらに共有して支援に生かす。 ○独居高齢者の長期不在時、居住個所の確認と連絡先の確認を随時行う。
18 上山	<ul style="list-style-type: none"> ○敬老祝い会 ○自治会で祭を行っていたが、運営が大変で今は休止。（上山祭があるので） ○転入してきた新しい住民と以前から住む住民がいて、自治会では特に取組がない。 ○う水ますの掃除 ○除草作業は150人くらい集まるので、ふれあいの一つになっている。 ○一斉清掃活動 		<ul style="list-style-type: none"> ○地域ふれあい事業で食事会を2019年度は実施したい。
19 女池	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の茶の間…桜木町、8丁目の茶の間 ○多世代交流事業…会津八一街歩き、新年会、餅つき大会、クリーン作戦、花壇づくり、秋のお楽しみ会、敬老祝い会、七夕飾り制作、ボウリング大会、パーベキュー大会、焼きそばの会、地区体操、ラジオ体操 ○歳末事業…安全、防災勉強会&昼食会 ○消火器を町内11か所に設置 ○夜間パトロール（夏休み期間）週1回 ○避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ○集まるための拠点がなく（多数意見）→マンション集会室や県立図書館、生涯学習支援センター等の活用は可能だが大きな問題である。 ○高齢化が著しく役員のなり手がなく、回覧配布で精いっぱい（自治会役員を辞退するために引っ越し人も）。 ○災害時の対応ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯、オレオレ詐欺の防止、防火、防災についての講演。 ○防災訓練…マンション独自で訓練（階下へ逃げて消火と避難の訓練を行う）。 ○民生委員とのタイアップで見守り強化。 ○家庭内DV防止、子どもの虐待防止のために何か考えたい。 ○自治会長を引き受けた一番の効果は、夫婦で役割分担して生活の活力が出ること…役員も悪いことばかりではない。 ○新築マンションに入居者の自治会加入推進。 ○転勤者とのコミュニケーションの取り方。 ○集会所確保のため積み立てや空き家をあたるなどの工夫をする。
20 上所	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練 ○敬老祝い会の実施。 ○月2回、見守りを実施（自治会内2班に分けて30分くらいで回る。防犯防火のため）。 ○多世代交流…節分豆まき、秋のトン汁の会、芋ほり体験、町内旅行、地引網体験、ラジオ体操、夏祭り、ひな祭りの会、班の交流会、ウォーキングの会、パーベキュー大会、節分の会、バス旅行、ラジオ体操、忘年会、一斉清掃、カラオケ大会 ○地域の茶の間 ○避難行動要支援者の対応。 ○コミ協の活動…貯筋運動・緊急医療情報キット配布・一斉清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○一方通行路の交通安全（通過車両の増加）。 ○アパート、マンションに住む方との交流不足。 ○お茶の間を開く場所がない。 ○高齢化（班長を担えない世帯、ゴミ出しが困難な世帯が増えている、自治会役員のなり手不足）。 ○戸建てとアパート住民の交流が困難である。 ○空地の雑草処理に苦慮。 ○春の移動時期に引っ越しや違反ゴミが多く出される。 	<ul style="list-style-type: none"> ○芋煮会の実施。 ○ふれあいの場所の確保のため動きたい。 ○防犯パトロールの実施。 ○高齢化の対策…ゴミ出し支援事業の確立、民生委員との連携で見守り訪問と班別支援体制の確立。 ○フレイル予防と健康寿命延伸の活動…貯筋運動の継続と勉強会の実施、老人クラブの支援。 ○地域の茶の間の拡大…自治会別に開催について検討する。

平成30年度 地域座談会（地域福祉活動計画）意見集約表

地区	現在取り組んでいること	現在の課題について	来年度（平成31年度）取り組みたいこと
21 笹口	<ul style="list-style-type: none"> ○多世代交流…町内バーベキュー大会・日帰り旅行・納涼会・町内パトロール兼ゴミ拾い・花壇の植栽・新年会 ・見守り活動…セーフティスタッフの活動・防犯灯の現況確認。 ○敬老祝い金の配布。 ○敬老会は2町内で行っており社協へ申請している。 ○ゴミ出し支援事業を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○要支援者の決定ルールを明確にしたい（行政も含め）。 ○町内美化の立場から市道植栽の管理処理がなされていない。 ○身近な地域に交流のある場所がある街→コミ協に事務所が出来て解決できた。 ○マンション住民との交流のできるまち→一部であるが、夏祭りの実施で多くの交流がはじまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○セーフティスタッフの充実（自治会代表を含めた組織化が必要）。 ○イベントへの連れ出しで仲間を増やす。 ○高齢者と障害者の支えあいについてこれから真剣に考えていく。 ○要支援者の決定ルールを明確にしていく（特に、現在該当している人について）。 ○ゴミ出し支援を考えていきたい。 ○見守り活動をどうできるか・民生委員だけに任せてはいけない。 ○中学生の参加については防犯訓練で積極的に参加してもらっている。 ○防災用リュックの配布の継続。
22 紫竹山	<ul style="list-style-type: none"> ○紫竹山自治会で茶の間発足、4回実施した。 ○新年会、親睦旅行の実施。 ○女子会の実施。 ○ラジオ体操、子供会の実施。 ○夏祭りの実施。 ○敬老祝い金と入学祝い金の実施。 ○防災訓練の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事等を行っても参加者が決まったひとばかり。 ○若い人の参加が少ない。 ○中学が遠く、駅を通ることから登下校が心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校が遠く登下校が心配なので、近くに中学を新設できないか検討したい。
23 山湯	<ul style="list-style-type: none"> ○多世代交流…夏祭り（夜店、屋台、盆踊り、地域の福祉事業所の施設を活用した祭）、ラジオ体操の実施、町内運動会、新年会 ○地域の茶の間 ○交通量が多いのに信号がなかなか変わらず、道路の横断に困っていたが、継続して働きかけを行い、現在は信号の待ち時間が減った。 ○弁天橋中央：民生委員が自治会役員を兼務するようになって町内の顔が見えるようになる、地域見守り隊（小中学校の登下校）に自治会役員がなる、ラジオ体操、春と秋のパトロール、火の用心（役員とボランティア）、毎週木曜のゴミパトロール、違反ゴミを自治会で預かり回覧板周知することで住民の意識が変わった。 ○京王：ふれあい部員の協力員で民生委員が参加している、ゴミステーションが100か所あって毎月移動するため班単位で管理を任せている。 ○南長湯：役員会に民生委員が参加している、ゴミ衛生員が町内全部を回りゴミパトロールを実施、古紙回収費を活用してゴミ袋の全世帯配布（アパートは10ℓ・戸建ては大の袋）→違反ゴミが少なくなった。 ○長湯：さいの神の後夕食会を実施、ゴミ衛生員が町内全部を回りゴミパトロールを実施。 ○長湯新栄：新年会、ゲーム縁日、寿会のお楽しみ会、街路樹清掃、公園の清掃 ○北谷内：新年会、餅つき大会、夏祭り ○美の里：夏祭り、餅つき大会、ひな祭り、敬老会 ○コミ協：お互い様ネットワーク（ゴミ出し支援、除雪、草取り） ○民児協：の一びのび山湯（子育てサロン） ○小中学校入学時に図書券を贈る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会ごとに取り組む温度差がある。 ○地域に火災が多くなっている（防災訓練の必要を感じている）。 ○物事に取り組むにも自治会規模から限度がある。 ○防災の観点からみて、最近コミュニティの不足が見受けられる。 ○行政の施設がない（山湯会館を借りている）が、まだめどがない。 ○バスの利便性はいまだ解決されていない。 ○ビッグスワンやエコスタでイベントがあると車のマナーや騒音の問題が起きる。継続して訴える必要がある。 ○高齢化により、役員不足。 ○回覧物が多すぎる。 ○空き家が多いうえ、連絡先が分からない状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ○バス交通体系について、地域の人たちがよりよく利用できるよう要望していきたい。 ○空地を利用した花壇の整備を進めたい（環境整備）。 ○山二ツ排水路整備。 ○自治会活性化するため若い人への働きかけをすすめ、役員になってもらいたい。 ○行政施設の（山湯会館に代わるもの）拠点建設。 ○憩いの家山湯荘の維持。 ○高齢者の増加、一人暮らしの増加で空き家も増えているので、見守り隊？ただ集まる場所を週1回実施している地区もあるが…。 ○医療と介護の問題はどう対応していけばいいか…これもやはり高齢者向けの見守り隊をするか、週1回の集まる場をやるか…？ ○老人クラブの男の料理教室で芋煮会を実施。 ○赤い羽根や歳末助け合いなどの各種自治会の集金を一括で行い、集金の負担を減らす。

令和元年度 地域福祉座談会概要

1 目的

平成26年度に策定された地域福祉活動計画について、その基本理念である「一人ひとりがお互いに支えあい・助けあい、誰もが安心して心豊かに暮らせる地域づくり」を推進するために、各地域の地域福祉活動の状況を振り返り、課題を把握するとともに、今後の必要な活動について意見交換を行うことを目的に開催する。

1 開催時期 令和元年11月22日（金）13:30～15:30

2 会場 新潟市民プラザ（NEXT21 6階）

3 参集者 地区社協関係者（各3名程度）
地区民生委員児童委員（各地区社協ごとに1～2名程度）
健康福祉課（4名）
地域保健福祉センター（各1名）
地域包括支援センター（各1名）
第2層支え合いのしくみづくり推進員（各1名）
新潟市障がい者基幹相談支援センター中央（1名）
新潟市パーソナルサポートセンター（1名）
若者支援センター オール（1名）
新潟地域若者サポートステーション（1名）
新潟市ひきこもり相談支援センター（1名）

4 内容

- 1 開会あいさつ 中央区社会福祉協議会 会長 佐々木 俊太郎（5分）
- 2 講演（40分）
演題 地域福祉計画・地域福祉活動計画について
講師 新潟医療福祉大学 准教授 青木 茂 氏
- 3 (1) 中央区地域健康福祉計画・地域福祉活動計画について（10分）
中央区社会福祉協議会 事務局長 高橋 直人
(2) グループワーク（60分）
【グループワークのすすめ方説明】
① 地区別地域福祉活動計画とH30年度の座談会の意見内容確認
② 現在の課題について話し合い
③ 来年度取り組んでいきたいことについて話し合い
- 4 閉会あいさつ 中央区社会福祉協議会 副会長 山岸 健治（5分）